



どこか輝いてみえる
「仕事」をしているあの人にズームアップ。

和風建築を通じて 質の高い暮らし提案

「株式会社 創舎」
二級建築士

立田 康子さん

心地よいリビングルームのような温かい空間が広がる「創舎」本社（岡山市北区大元上町）。建築士として活躍しているのが立田康子さん。「創舎」は昔ながらの造りを大切にしながら、だわりの木造住宅を建てることで長く愛されている建築会社である。

多くのスタッフに支えられて

19年前入社したときは、インテリアコーディネーターの資格は持っていたものの建築に関してはまったくの素人であった。しかし木を生かす造りに造り上げていく「創舎」の中で自分も、もっと深く関わりたいと思うようになった。「社内の方々、大工の棟梁方、構造設計の専門家、熟練の職人さんたち」周囲は先生方ばかりです。皆さんに教えて頂きながら生きた勉強ができました。

丁寧をモットーに「種」を造る

家造りに関しては、竹田成太社長と二人三脚でお客様の希望される形にしていく。「毎回その家のテーマを決めて、自分たちに多くの課題を課します。そして「種」を造っていくことを大切に

にしています」と話す。また「図面に関しては、過度にならないよう控えめなデザインにこだわっています」。信念を持ち、家造りに直向きに取り組む姿勢は、社のコンセプトである「お客様に質の高い満足を届ける」に通ずるのだろう。

「筆」から得た日本文化の感性

「最近はずいぶん全くなのですが、昔は絵画と筆をしていました」とプライベートを語る。「筆の透き通る音色が大好きなんです」。立田さんの純粋な人柄が浮かびあがる。日本の伝統文化に触れた経験は、現在の和風建築にも大いに役立っているのだろう。



美しく整備された日本庭園と木造住宅は、日本人が忘れかけている「日本文化」の素晴らしさを静かに物語っているように感じた。